

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報システム科 エンジニアコース	夜・通信	1248 h	160 h	
	情報システム科 ITビジネスコース	夜・通信	513 h	160 h	
商業実務専門課程	医療ビジネス科 医療コース	夜・通信	1128 h	160 h	
	医療ビジネス科 ビジネスコース	夜・通信	1114 h	160 h	
	ビジネスキャリア科	夜・通信	756 h	80 h	
	公務員科 (2年)	夜・通信		160 h	○
	公務員科 (1年)	夜・通信		80 h	○
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「令和3年度実務経験のある教員授業一覧」を学校事務室にて備え付け、公表している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 公務員学科
(困難である理由) 公務員試験合格のための指導を行う学科のため、実務経験のある教員の配置に適さないため。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「令和3年度理事名簿」を学校事務室に備え付け、公表している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社中村電機製作所 顧問 中村敏郎	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで。	学校経営アドバイザー
非常勤	株式会社佐賀新聞社代表取締役 中尾清一郎	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで。	効果的広報活動の指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成について シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</li> <li>・公表について 「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	「令和3年度授業計画書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況管理 授業の各時限において出席状況を把握している。 履修認定条件として、出席率は90%以上を基準としている。</li> <li>・学修成果の評価 定期試験を実施し、シラバスのとおり成績評価を行い、単位認定基準として100点満点中60点を基準としている。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価における客観的指標の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>公務員科においては、全ての模擬試験の平均点を算出することを基本としつつ(80%)、出席状況も加味(20%)して、評価をA～Dの4段階で行っている。</li> <li>情報システム科、医療ビジネス科、ビジネスキャリア科においては、履修科目の評価を総合評価して点数化し、評価をA～Dの4段階で行っている。</li> <li>いずれにおいても、成績分布において下位4分の1がDに相当する。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>「令和3年度成績評価基準」を学校事務室にて備え付け、公表している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校のディプロマ・ポリシー <ul style="list-style-type: none"> <li>本校では、次のような資質や実践的職業能力を修得した学生に卒業を認定します。</li> <li>(1) 専門的知識、技能、幅広い教養を修得し、感謝の心をもって物事に取り組むことができる。</li> <li>(2) 柔軟で豊かな人間性を具え、国家や地域社会に貢献することができる。</li> </ul> </li> <li>・卒業認定方針の作成プロセス <ul style="list-style-type: none"> <li>学内の検討委員会で検討したうえで作成している。</li> </ul> </li> <li>・上記認定方針に基づく卒業認定方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>教務部長及び各学科担当者により卒業認定会議を実施し、個別の卒業認定を行っている。</li> </ul> </li> <li>・学生への周知方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</li> </ul> </li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>「令和3年度卒業認定基準」を学校事務室にて備え付け、公表している。</p>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		41人	40人	40人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	19人	
	第Ⅱ区分	18人	16人	
	第Ⅲ区分	5人	5人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。



様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「令和2年度貸借対照表」を学校事務室にて備え付け、公表している。
収支計算書又は損益計算書	「令和2年度収支計算書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
財産目録	「令和2年度財産目録」を学校事務室にて備え付け、公表している。
事業報告書	「令和2年度事業報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
監事による監査報告（書）	「令和2年度監査報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科 エンジニアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2559 単位時間/単位	1554 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1005 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2275 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (情報システム科 総定員)		43	0	3	2	5	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
(概要) <b>【進級条件】</b> ① 1年次の各科目毎の出席率90%以上であること ② 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ③ 1年次の検定取得状況が良好であること ④ 学費等の納入が完了していること <b>【卒業条件】</b> ① 卒業年次の出席率が90%以上であること ② 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ③ 学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスмет奨学生制度、コスмет特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 ( 0%)	8人 (100%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム科 ITビジネスコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2042 単位時間/単位	1046 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	996 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		2292 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人 (情報システム科 総定員)	14	0	3	2	5		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。 また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級条件】 ⑤ 1年次の科目毎の出席率90%以上であること ⑥ 1年次の科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑦ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑧ 学費等の納入が完了していること 【卒業条件】 ④ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑤ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑥ 学費等の納入が完了していること ※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要してはならない。認定会議においてその認定を行う。
学修支援等
(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスмет奨学生制度、コスмет特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 ( 0%)	8人 ( 80%)	2人 ( 20%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療ビジネス科 医療コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1811 単位時間/単位	561 単位時間 /単位	767 単位時間 /単位	200 単位時間 /単位	283 単位時間 /単位	
			1806 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (医療ビジネス科 総定員)		37人	0人	6人	3人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p><b>【進級条件】</b></p> <p>⑨ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ⑩ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑪ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑫ 学費等の納入が完了していること</p> <p><b>【卒業条件】</b></p> <p>⑦ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑧ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑨ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要) 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 ( 0%)	9人 ( 100%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 病院・薬局・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接客検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更及び出席不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療ビジネス科 ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1901 単位時間/単位	616 単位時間 /単位	788 単位時間 /単位	228 単位時間 /単位	269 単位時間 /単位	
			1774 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人 (医療ビジネス科 総定員)		19人	0人	6人	3人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。</p> <p>成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級条件】</p> <p>⑬ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること</p> <p>⑭ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>⑮ 1年次の検定取得状況が良好であること</p> <p>⑯ 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>⑩ 卒業年次の出席率が90%以上であること</p> <p>⑪ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>⑫ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>



卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 ( 0%)	9人 ( 100%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 病院・薬局・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接客検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ビジネスキャリア科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  967 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼		333 単位時間 /単位	365 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	149 単位時間 /単位	
		970 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		2人	0人	6人	3人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価をA～Dの4段階で行っている。 成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級条件】</p> <p>⑰ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること ⑱ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑲ 1年次の検定取得状況が良好であること ⑳ 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>⑬ 卒業年次の出席率が90%以上であること ⑭ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること ⑮ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 ( 0%)	0人 ( 100%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 病院、一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務管理士・秘書検定・サービス接客検定・エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  1805 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		871 単位時間 ／単位	914 単位時間 ／単位	20 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
		1805 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		38人	0人	4人	3人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。</p> <p>成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級条件】</p> <p>21 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること</p> <p>22 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>23 1年次の検定取得状況が良好であること</p> <p>24 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>⑩ 卒業年次の出席率が90%以上であること</p> <p>⑪ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>⑫ 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
公務員科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	11人 ( 57.9%)	7人 (36.8%)	1人 (5.3%)
(主な就職、業界等) 官公庁・警察・消防・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  986 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼		487 単位時間 ／単位	479 単位時間 ／単位	20 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
		986 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		22人	0人	4人	3人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。</p> <p>また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価をA～Dの4段階で行っている。</p> <p>成績分布において、下位4分の1がDに相当する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級条件】</p> <p>25 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること</p> <p>26 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>27 1年次の検定取得状況が良好であること</p> <p>28 学費等の納入が完了していること</p> <p>【卒業条件】</p> <p>①9 卒業年次の出席率が90%以上であること</p> <p>②0 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること</p> <p>21 学費等の納入が完了していること</p> <p>※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
公務員科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	10人 ( 33.3%)	18人 ( 60.0%)	2人 ( 6.7%)
(主な就職、業界等) 官公庁・警察・消防・一般企業			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) エクセル・ワード検定など			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報システム科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
医療ビジネス科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
ビジネスキャリア科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
公務員科	100,000 円	590,000 円	180,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和2年度学校自己評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校の学校関係者評価は『専修学校における学校評価ガイドライン』(文部科学省生涯学習政策局)に即して行うことを基本方針とする。実施方法は評価項目(教育理念・目標、学校運営、教育活動等)について学校関係者評価委員により意見を聴取した。評価結果の活用については自己評価委員会に報告し、学校全体の共通認識のもとで、改善に努める。委員会体制は事務局に事務局長、学校長、教務部長、統轄部長、学科長を配置し、企業及び本校卒業生から委員6名程度を委嘱する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
原田株式会社 事務機部技術課課長	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで	IT業界関係者
矢ヶ部医院 医師	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで	医療事務業界関係者
鹿島市役所文化交流課	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで	公務員関係者
株式会社ライフラインコネクト	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで	代表取締役社長
和食処経営	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで	本校卒業生 1992年3月卒業



佐賀県剣道連盟師範	令和3年4月1日から 令和5年3月31日まで	元公立学校校長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和2年度学校関係者評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.cosmet.ac.jp">http://www.cosmet.ac.jp</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		41人	40人	40人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	19人	
	第Ⅱ区分	18人	16人	
	第Ⅲ区分	5人	5人	
家計急変による支援対象者 (年間)				人
合計 (年間)				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得な

い事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。